

人生は、八合目からが
おもしろい。



吉永小百合
のん

木村文乃 若葉竜也／工藤阿須加／茅島みずき 和田光沙

円井わん 安藤輪子 中井千聖／長内映里香

三浦誠己 金井勇太 カトウシンスケ 森 優作／濱田マリ 浅見小四郎

天海祐希／佐藤浩市

監督：阪本順治

脚本：坂口理子 音楽：安川午朗

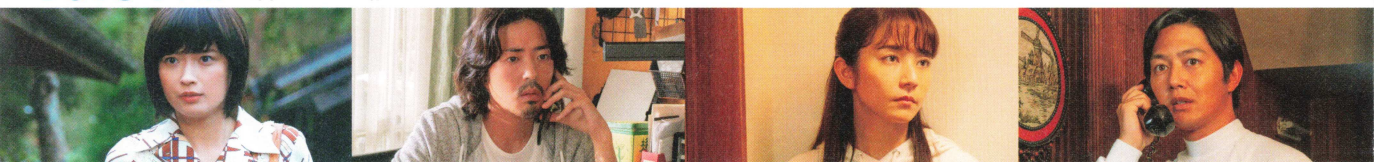
原案：田部井淳子「人生、山あり「時々」谷あり」(潮出版社)

製作総指揮：木下直哉

© 2025「てっぺんの向こうにあなたがいる」製作委員会  

てっぺんの 向こうに あなたがいる

10.31 FRI teppen-movie.jp



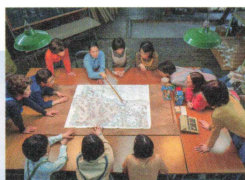
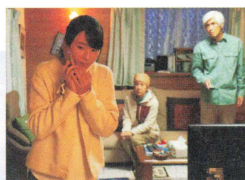
女性初のエベレスト登頂から50周年を迎える2025年。
 阪本順治監督×吉永小百合による
 『北のカナリアたち』以来、13年ぶりのタッグでおくる
 壮大なスケールの冒険譚がはじまる!!



「人はなぜ山に登るのか?」「そこに山があるから」――

かつてこんな名言を残した登山家があった。困難な道、簡単な道…登るも留まるも、それを決断するのも歩むのも自分自身であり、誰の人生においてもそれは同様だ。あなたはなぜ、その山を、その道を選ぶのだろうか?これは、自分の全てをかけて“てっぺん”に挑み続けた多部純子という女性登山家とその家族の物語である。

主人公・純子を演じるのは今作で映画出演124本目となり、日本映画界を牽引する俳優・吉永小百合。純子を支える夫・正明を演じるのは数々の映画賞を受賞し、圧倒的な存在感を誇る名優・佐藤浩市。純子の盟友であり、エベレスト登頂の相棒でもある北山悦子役には、吉永と映画『最高の人生の見つけ方』以来5年ぶりのタッグとなる天海祐希。青年期の純子役はアーティスト活動から俳優活動まで多方面で活躍し、その存在感と演技が絶賛されるのん。また、木村文乃、若葉竜也、工藤阿須加、茅島みずぎと険しい高峰へ向けて実力派の俳優たちが揃った“パーティー”となった。



STORY 1975年、エベレスト山頂に向かう一人の女性の姿。一步一步着実に山頂(てっぺん)に向かっていくその者の名前は多部純子。日本時間16時30分、純子は女性として初の世界最高峰制覇を果たした―しかしその世界中を驚かせた輝かしい偉業は純子に、その友人や家族たちに光を与えると共に深い影も落とした。晩年においては、余命宣告を受けながらも「苦しい時こそ笑う」と家族や友人、周囲をその朗らかな笑顔で巻き込みながら、人生をかけて山へ挑み続けた。登山家として、母として、妻として、一人の人間として…。

純子が、最後に「てっぺん」の向こうに見たものとは一。



エグゼクティブプロデューサー: 武部由美子 プロデューサー: 富永理生子 アソシエイトプロデューサー: 相井友紀子 音楽プロデューサー: 津島玄一 撮影: 笠松剛通 照明: 渡邊孝一 録音: 照井康政 美術: 杉本 亮 装飾: 佐藤孝之
 編集: 菅嶋 剛 衣裳: 大塚 浩 ペアメイク: 豊川京子 音響効果: 小島 彩 VFXスーパーバイザー: 辻白倉慶一 興行映人・助監督: 小野寺昭洋 製作担当: 松田憲一良 ラインプロデューサー: 鈴木嘉弘
 脚本: 吉永小百合の過去にあなたがいる 製作委員会 木下グループ 朝日新聞社 読売新聞社 報知新聞社 制作プロダクション: キノフィルムズ ドラゴンフライ 配給: キノフィルムズ 協力: 一般社団法人 田部井淳子基金
 特別協賛: 三井不動産レジデンシャル 協賛: SKY IS スターズグループ 特別協力: JRR東日本 ◎ 五島の島 宣伝協力: JAPAN AIRLINES 後援: 東京都医師会 ヘアメイク協力: A/ エトキティ

10.31 FRI 全国公開

劇場情報はこちら▶

